

# 広次

ひろつぐ  
忠彦

# 通信

No. 168

2006年7月5日

日本共産党大分市議団

# 「診察代いるんですか」・乳幼児医療

## 乳幼児医療費

### 有料化へ 県・市

大分市は、県の乳幼児医療費助成制度の一部有料化にともない、市の条例改定を6月議会に提案しました。

6月議会にさきだち、「現行の無料制度を維持しつつ、制度の拡大を」と、市長に直接申し入れをしました。市長は「私が県議時代に制度を要求して実現した

乳幼児申し入れ



申し入れする堤栄三前県議（左から2人目）、広次市議（右奥）ら

もの」と話しながらも、再考の約束はしませんでした。

### 年1億6千万円で

### 制度維持できる

現行の無料制度を維持しつつ、3歳から就学前までの通院には一部負担金導入した場合と、県と同様の入院・通院の一部負担および入院給食費の全額自己負担にした場合では、1億6千万円（予算の0・1%）しか違いません。

「病気になったら、何も心配せずに、お医者につれていかれたのに。また不安ができた」という声が寄せられています。こうした家族の思いを、市長はどのようにうけとめているのでしょうか。少子化対策がさげばれています。税金の使い方を見直せば十分にできることです。

### 無料制度の維持

### 県政に署名の山を

「無料制度の維持を」との署名を県政にむけて、『要求実現県民連絡会』などで取り組んでい

ます。

### 広次忠彦市議の談話

大分市はこの間、出生時の肌着とアルバムの贈呈の廃止、第3子以降の10万円の祝い金廃止など、子育て支援・少子化対策につながる事業をやめてきました。今回の乳幼児医療費の一部負担導入は、「さらなる有料化制度の廃止」につながりかねません。ごいっしょに、世論をひろげていきましょう。

### とんでもない 米軍再編に3兆円

築城集会



### 活動トピックス

6月16日 6月議会で一般質問にたつ（会期12〜26日）

6月23日 合唱団クールエス

ポワール20周年を祝う

6月29日 介護保険の減免交渉・申請に同席

介護保険交渉



6月30日 国民健康保険の減免交渉・申請に同席

国保交渉

